



八千代の自然・文化財11選

# 八千代の自然・文化財11選

## はじめに

八千代市の地形の一部は、印旛沼の干拓や現代の開発に伴う造成などにより変化してきていますが、かつては北には印旛沼を臨み、また、市域の中央には新川が南北に流れるという、水利に恵まれた自然環境でした。このことから、今日でも減少はしましたが残されてきた自然や、今から約3万年以上前からの人々の生活や文化の痕跡を数多く見ることができます。

これらを市民の皆さんに知っていただき、八千代の自然・文化の素晴らしさを理解していただくために、ほんの一部ですが11件を選び、パネルとして作成しご覧いただいております。しかし、印刷物をお手元にお届けすることが、現地を訪れるきっかけともなり、各社会教育施設などでの掲示の理解を深めることにもなると考え、今年度事業として冊子を作成することといたしました。

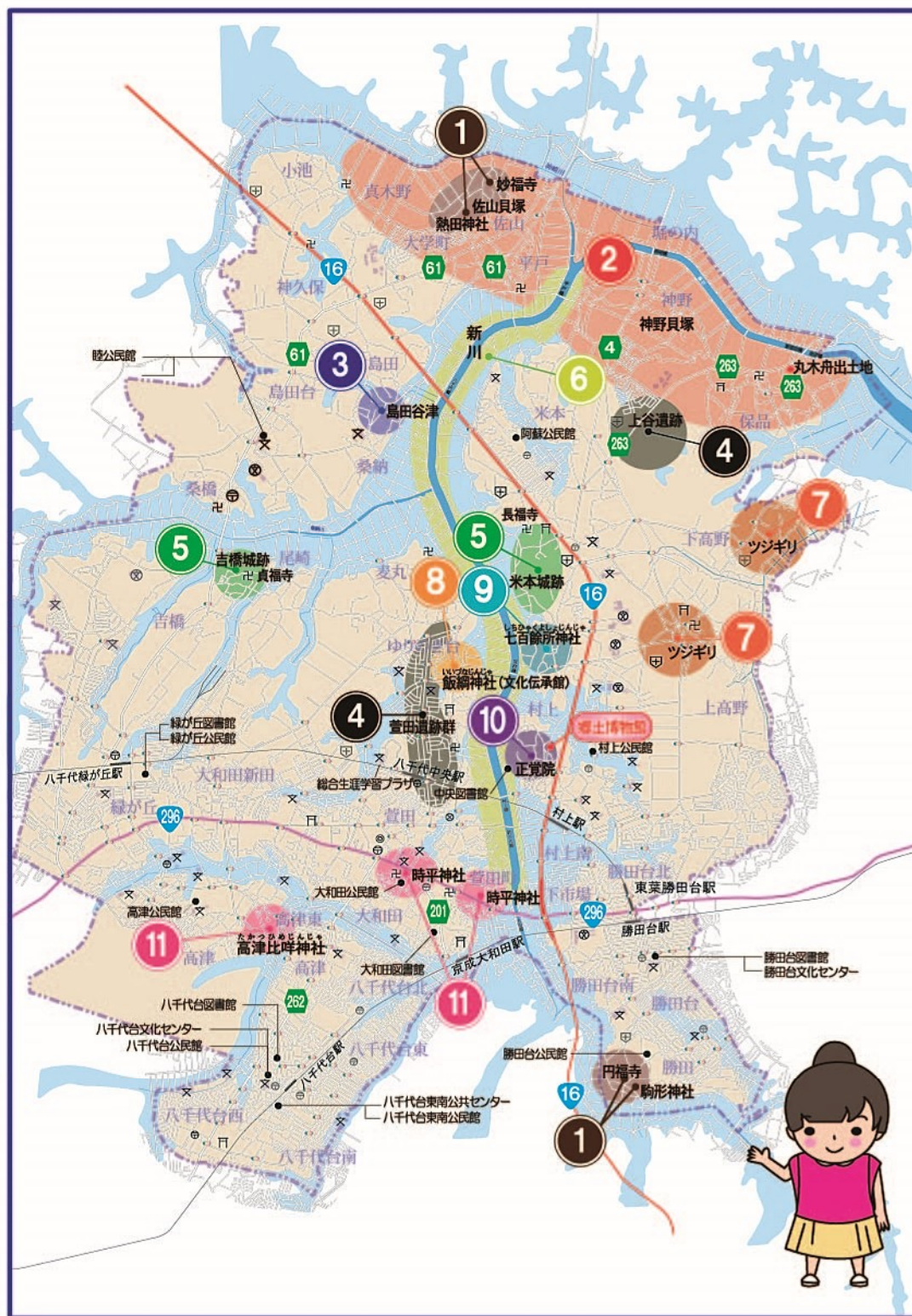
八千代の、素晴らしい自然と文化を理解するお供として、ご利用いただければ幸いです。

平成31年3月1日

八千代市立郷土博物館

## 目次

- 1 豊作を祈る舞 (佐山・勝田の獅子舞)
- 2 縄文貝塚のある風景 (神野・佐山の貝塚、保品の丸木舟)
- 3 受け継がれる里山の姿 (桑納地区・島田谷津)
- 4 何を語る古代の文字 (保品の上谷遺跡・萱田の遺跡群)
- 5 今に残る戦国時代の城 (米本城跡・吉橋城跡)
- 6 人々が今憩う流れ (新川—村上・米本・島田)
- 7 災いから守る大蛇 (上高野・下高野のツジギリ)
- 8 神社に残された“わざ” (萱田の飯綱神社)
- 9 伝わる祭とけやき並木 (村上の七百餘所神社)
- 10 オシドリ伝説の寺 (村上の正覚院)
- 11 安産を祈る大祭 (下総三山の七年祭り—大和田・萱田町・高津)



# 1 豊作を祈る舞



モトギリ（勝田の獅子舞）



オオガカリ（佐山の獅子舞）



ミチブエ（勝田の獅子舞）

ハタカケ（勝田の獅子舞）



ミチブエ（佐山の獅子舞）



カコイ（佐山の獅子舞）

佐山と勝田の2か所には市指定無形民俗文化財の獅子舞が残されていて、どちらも3匹で舞う三匹獅子舞です。獅子舞は、江戸時代に「悪疫を退散させる」として全国へ広がりました。

佐山の獅子舞は毎年9月23日の彼岸の中日に「五穀豊穡」と「悪疫退散」を願い、熱田神社と妙福寺で舞われます。このことから「ヒガンジシ」と呼ばれ、親獅子・中獅子・女獅子の3匹の獅子がおオガカリとカコイの2種類を交互に舞います。

勝田の獅子舞は台風が一番多く襲来する日に行われ、獅子舞を舞って「水伏せ」を念じるとともに五穀豊穡を祈ったことが起源といわれています。円福寺と駒形神社で舞を行い、現在は9月の第1日曜日に変更されました。オヤジ・セナ・カカの3匹の獅子がモトギリ・ハタカケ・タネの順に舞うものです。

# 2 縄文貝塚のある風景



印西市船尾付近から



印西市武西付近から



神野貝塚の貝の散布状態



佐山貝塚出土土器



佐山貝塚の現状と散布する貝

八千代市の北端部、印西市との市境の、現在では埋め立てられ、水田が広がる旧印旛沼を臨む標高約20mの台地上、佐山・神野地域に、県内で著名な縄文時代のムラ・貝塚が所在しています。

佐山貝塚の貝の分布は東西約140m、南北約200mで、北西方向に開口した弧状の形をしています。昭和49年に一部発掘調査され、縄文時代後期の土器や土偶・石製品のほか、骨や角で作られたモリ・ヤス類、また、ヤマトシジミやハマグリなどの貝、ズキ・クロダイなどの魚やイノシシなど獣の骨が出土しました。

神野貝塚は、縄文時代中期から後期の土器片や貝殻が散布し、径約140mの範囲に貝層が約15か所点在する点列状貝塚です。

さらに、保品の北側の水田の地下から、縄文時代晩期の丸木舟が発見されるなど、これらの地域は、縄文時代の暮らし・文化を今日に残している、貴重な埋蔵文化財の宝庫です。

### 3 受け継がれる里山の姿



八千代市の谷津と台地（提供：環境保全課）



里山の景観（島田谷津）



むつみの森のヤマトミクリの里づくり



ヤマトミクリ

八千代市は、人と生き物のための緑のある都市をめざし、市内に残る谷津・里山の貴重な自然環境を引き継いでいくために、「八千代市谷津・里山保全計画」を平成23年3月に策定しました。

谷津とは、平らな台地に樹枝状に深く入り込んだ、下総台地に特徴的な谷の地形です。島田谷津は、市内の谷津の内、唯一谷津頭が残っている地域で、昔ながらの里山の景観が残っています。

谷津を流れる水路には、県内で唯一生息が確認されている浅水生植物で準絶滅危惧種のヤマトミクリの群生が見られます。

市や市民団体など協働で、周辺の「むつみの森」や竹林の整備、湿地の維持再生、水質調査等の保全活動を行っています。その優れた自然環境と活動が認められ、環境省により「生物多様性保全上重要な里地里山」に選ばれました。八千代市では、桑納地区・島田谷津をモデル地域として保全活動を行っています。

### 4 何を語る古代の文字



上谷遺跡の航空写真



市指定文化財「墨書土器群」12点



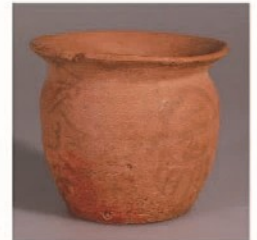
上谷遺跡



市指定文化財「墨書土器群」のうちの4点



北海道遺跡

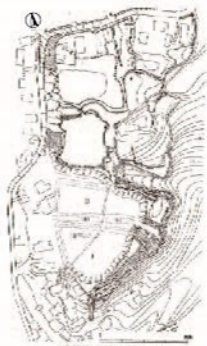


白幡前遺跡

八千代市の北東部、保品地区にある上谷遺跡は、宅地造成に伴い、全域を発掘調査し、縄文時代から近世に至る各時代の遺構や遺物が発見されました。奈良・平安時代では、竪穴住居199軒、掘立柱建物194棟などが発見され、掘立柱建物は「コ」の字状に並んで配置されており、役所的な性格を帯びた建物であった可能性があります。

本遺跡からは、墨書土器という、当時の人びとが土器に墨などで文字や記号、絵などを書いたものが多数出土しています。特に祭祀関連墨書土器8点は、当時の信仰を示唆し、地名・人名・年号・人面画などが書かれています。上谷遺跡以外でも萱田の北海道遺跡・権現後遺跡・白幡前遺跡から同様な墨書土器が計4点出土しており、これら12点の墨書土器は、いずれも貴重な歴史資料として市指定文化財となっています。

## 5 今に残る戦国時代の城



米本城見取り図



伝：村上綱清の墓



米本城跡のシロヌシサマと竹水筒



吉橋城見取り図



貞福寺血流れ地蔵



水田より西に吉橋城を臨む

八千代市に残る代表的な城跡としては、米本城と吉橋城が挙げられます。米本城は戦国時代の上総の武将、村上民部大輔綱清の晩年の居城と考えられ、臼井城主原式部大夫胤栄の配下として、西の守りを担っていたようです。また、お参りすると咳が治ると伝えられるシロヌシサマと呼ばれる板碑が祀られています。家老と伝わる加茂文左衛門家が檀家である米本山長福寺には、綱清と奥方の墓と伝わる五輪塔があります。

一方、吉橋城は高木伊勢守胤貞が城主と伝わり、隣接する愛宕山貞福寺には、伊勢守の身代わりとなって敵に討たれたと伝わる血流れ地蔵尊が祀られています。高木氏は原氏の一族と考えられ、松戸の小金城を拠点として、新川の西側まで勢力を伸ばしていました。いずれの城も戦国時代末期に廃城になったようです。

## 6 人々が今憩う流れ



下総国印旛沼御普請堀割絵図



天保七年米本村絵図

新川が描かれた絵図



ゆらゆら橋 (村上・豊田)



米本・逆水橋

新川 (米本) の千本桜

八千代市の中心を縦断する新川は、江戸時代の堀割普請が実施される以前は古川筋といい、勝田から印旛沼へ注いでいましたが、印旛沼が氾濫すれば水が逆流し、村々は水害に見舞われました。

水害を防ぎ水運を開くことを目的として、江戸時代の享保・天明・天保期に新川の普請が行われます。古川の幅を広げ、蛇行を直線的にし、花見川と連結する予定でしたが、3度の普請は、資金の枯渇や天変地異、担当者の失脚などにより失敗しますが、掘られた川筋は、付近の村々によって維持・管理されました。

しかし、明治から昭和時代にも印旛沼の氾濫による洪水が起こり、国や県による洪水対策が講じられることで新川の様子も大きく変化します。印旛沼の管理施設が整備され、印旛放水路として現在の姿となりました。それまで洪水の原因となっていた新川は現在、市民が集う憩いの場であり、桜の名所となっています。

# 7 災いから守る大蛇



下高野のツジギリ



上高野のツジギリ

ツジギリ製作から  
掛けるまで（下高野）ツジギリ製作から  
掛けるまで（上高野）

下高野や上高野などでは、道路の脇や家の入り口に藁で作られた蛇や注連縄などが掛けられている景色を見ることができます。これらの蛇や注連縄は1月下旬から2月にかけてお札とともにムラ境に外に向けて掛け、外からの病魔や災いなどの侵入を防ぐ目的で行われる、災い除けの「ツジギリ」と呼ばれる行事です。

以前は市内の各所で行われていましたが、現在は7か所のみとなっています。下高野では1月の第4日曜日に地区の人が集まり藁蛇を作ります。この蛇にお札と、唐辛子やヒイラギなどをつけて仕上げ、ムラ境5か所に掛けます。小さい蛇も作り、これは各家の入り口にかけます。元々はお札だけでしたが、十数年前から蛇を使うようになったそうです。

このようにツジギリの内容・方法は時代と共に変化して継承されています。

# 8 神社に残された“わざ”



参道石段



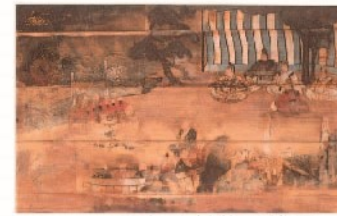
飯綱神社拝殿



鐘楼



玉垣彫物



雨乞い祈祷の絵馬



神馬の絵馬

市域のほぼ中央、萱田の飯綱神社は、八千代市における文化財の宝庫の一つです。雨乞い祈祷の絵馬、神馬の絵馬、玉垣彫物、鐘楼（附・再建棟札）、本殿（附・棟札）、拝殿、玉垣、参道石段（附・石坂供養塔、石階再建勸化帳）が市指定文化財です。

また、太田道灌が新川対岸の米本城を攻めた際に、ここで戦勝を祈願したという、神社縁起に関わる伝承が残り、近代においては、境内で「萱田市」が開かれ、たいへんな賑わいであったと言われています。境内には八千代市文化伝承館があり、その建設に先立つ権現後遺跡の発掘調査では、古墳時代後期や奈良・平安時代の竪穴住居が発見され、土師器のほかハマグリなどの貝類、「吉祥」と書かれた墨書土器などが出土しています。

## 9 伝わる祭とけやき並木



櫛の大木が残る並木

市内村上の宮内、国道16号線に沿った西側に、多くの市民に利用されている道がありますが、ここに櫛の大木が7本程残る並木が見られます。古くから成田街道の下市場から佐山・船尾を経て印西市木下とを結び、多くの人々や物資が行き交った道と神社の参道の名残です。

その付近には林に囲まれた、七百餘所神社の社殿や神楽殿が見られ、ここでは、1月15日に祈年祭、10月9日に例祭が行われ、地域の人々により豊作や子孫繁栄等を祈る神楽が9座奉納され、また祈年祭では湯立て神事も行われ、無病息災を祈ります。

この神楽のはじまりは不明ですが、言い伝えや、天正11年(1583)と墨で書かれた、直径40cm、長さ約45cmの大型の鼓のような形の羯鼓(市指定有形文化財)が残されていることから、江戸時代初期にはすでにあったと考えられています。



七百餘所神社本殿・神楽殿



村上の神楽(市指定無形民俗文化財)



祈年祭での湯立て神事

## 10 オシドリ伝説の寺



オシドリを射る真円



鴨鴛塚



真円を訪ねる美しい女性



花祭りの釈迦堂の様子



オシドリ夫婦の亡きがら



千葉県指定有形文化財  
木造釈迦如来立像

新川の畔、村上には池証山鴨鴛寺正覚院が静かに佇んでいて、鴨鴛寺の名の通り、オシドリにまつわる伝説が伝わっています。

殺生を行っていた入道真円という者が、ある日阿蘇沼でオシドリを射ました。その晩、美しい女性が現れ、真円に向かって夫を殺したと訴え、「日くるれば誘ひしものを阿蘇沼のまこもがくれの一人寝ぞうき」と詠んで去って行きます。夜が明けると、昨日真円が射たオシドリと雌鳥のオシドリが、嘴を合わせて死んでいました。昨夜の女性が射殺したオシドリの妻であったと知った真円は鴛鴦夫婦の愛情に感じ入り、殺生を恥じて出家遁世を決め、池のほとりに庵を結びました。

また、市内最古で鎌倉時代後期の作と考えられ、千葉県指定の有形文化財である木造釈迦如来立像にまつわる伝説もあり、この仏様は、4月の仏誕会(花祭り)の日一般公開されます。

# 11 安産を祈る大祭



高津比咩神社お囃子保存会



萱田町時平神社の神輿出発



高津比咩神社山車



二宮神社に向かう高津比咩神社の神輿



大和田時平神社の山車

下総三山の七年祭りは、数えの七年に一度の丑年と未年に、八千代・船橋・千葉・習志野の4市に鎮座する二宮神社・子安神社・子守神社・三代王神社・菊田神社・大原大宮神社・時平神社・高津比咩神社・八王子神社の九社によって行われる壮大な祭です。

起源は文安2年(1445)、馬加城主馬加陸奥守康胤の奥方が妊娠した際、11ヶ月が過ぎても出産の兆候がないため、子守・二宮・子安・三代王の各神社に安産祈禱をさせ、無事に男子を授かったことから、康胤は喜び、四社を集めて祭りを行ったと言われます。

八千代からは、萱田町・大和田の時平神社から神輿・山車が、高津からは神輿が出て、神揃場に参集し、二宮神社に昇殿します。別の日には大和田・高津で花流しという神輿や山車の渡御を行い、千葉県を代表する大祭として、大勢の見物客で賑わいます。

## 八千代市の社会教育施設

### 博物館

八千代市立郷土博物館  
村上1170-2 TEL 047-484-9011

### 図書館

中央図書館  
村上2510 TEL 047-486-2306  
大和田図書館  
大和田250-1 TEL 047-482-3240  
八千代台図書館  
八千代台北6-7-6 TEL 047-482-0912  
勝田台図書館  
勝田台2-5-1 TEL 047-484-4946  
緑が丘図書館  
緑が丘3-1-7 TEL 047-489-4946

### 公民館

大和田公民館  
大和田792 TEL 047-482-0845  
阿蘇公民館  
米本1359 TEL 047-488-1185  
高津公民館  
高津832-1 TEL 047-450-0353  
勝田台公民館  
勝田735-7 TEL 047-485-5202  
八千代台公民館  
八千代台西1-8 TEL 047-483-5553  
村上公民館  
村上1113-1 TEL 047-485-5452  
睦公民館  
島田756 TEL 047-450-2390  
八千代台東南公民館  
八千代台南1-11-6 TEL 047-485-4811  
緑が丘公民館  
緑が丘3-1-7 TEL 047-489-4919

## 八千代の自然・文化財11選

発行日 平成31年3月1日  
発行・編集 八千代市立郷土博物館